

JAB RL352-2008 (案) に対するコメント及び事務局対応

コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 : 採用、 : 修正等、× : 不採用)
丸山隆資	第 2 章	2	T	FCC Part15 から引用される、ANSI 規格に関しては、必ずしも最新版は適用されない。 試験方法、NSA に関しては、ANSI C63.4-2003 受信機等の校正に関しては、ANSI C63.2-1996 代替サイトの NSA 測定に使用するアンテナ校正に関しては、ANSI C63.5-1988 及び ANSI C63.5-1998 試験に使用するアンテナ校正に関しては、ANSI C63.5-1998 が、適用される。ANSI C63.5 は 2004 版も発行されているが、校正方法が異なるため適用されていない。	(4) ANSI C64.4-2003 (5) ANSI C63.5-1998 ... (6) ANSI C63.5-1988 ... (7) ANSI C63.2-1996 ... 参照する ANSI 規格に関しては、最新版が適用されるとは限らないため、年号を記載する。	× 今回の改定は、とりあえず第 1 章 5.6 項の中で妨害波測定設備のトレーサビリティについてのみ改定するもので他の部分はまだ未検討です。ご提案の意見は次回全面改定の際に配慮させていただきたいと考えております。
丸山隆資	第 2 章	5.5.1	T	校正周期の要求が、ANSI	要求事項は、"shall be"=	× 今回の改定は、とりあえず第 1 章 5.6 項の中で

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」、「E (編集上のコメント)」又は「Q (質問)」の区分をご記入ください。

コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント 区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 : 採用、 : 修正等、× : 不採用)
				C63.4-2003 4.4.1 項と整合しない。"shall be"= 強制要求事項	強制要求事項であることから C63.4-2003 4.4.1 項に整合 させた運用記載に全面修正が 好ましいと考えます。	妨害波測定設備のトレーサビリティについてのみ 改定するもので他の部分はまだ未検討です。ご提 案の意見は次回全面改定の際に配慮させていただ きたいと考えております。
丸山隆資	第 2 章	5.5.1	T	ANSI C63.4-2003 による 校正要求は、アンテナだけ に限定されず、4.4 項にて ANSI C63.2-1996 と製造 者の推奨項目を参照し関 連する機器の校正を要求 している。"shall be"= 強制要求事項	要求事項は、"shall be"= 強制要求事項であることから ANSI C63.4-2003 4.4 項に 整合させた運用記載に全面 修正が好ましいと考えます。	× 今回の改定は、とりあえず第 1 章 5.6 項の中で 妨害波測定設備のトレーサビリティについてのみ 改定するもので他の部分はまだ未検討です。ご提 案の意見は次回全面改定の際に配慮させていただ きたいと考えております。
アイシン精機	5.6.5.3	3,4,5	E	「 <u>±4dB を確実に満足し ていることを確認するた めに・・・不確かさがつ いていることが必要</u> 」とは、 「不確かさを含めて ±4dB を満足すること」と理解 される。	規格の許容値(±4dB)を確実 に満足していることを確認す るために	提案の通り削除しますが不確かさの大きさには 一定の制限があることを明確にするために以下の とおり変更します。 5.6.5.3 NSA (正規化サイトアッテネーション) の測定要件 NSA (正規化サイトアッテネーション) の測定結 果は必ずしも認定シンボル付きの試験報告書 (又 はトレーサビリティの確保された社内試験結果) である必要はないが、規格の許容値(±4dB)を 確実に満足 <u>CISPR16-1-4 Annex F に準じた測定 器を使用していることを確認するために、使用し たアンテナ、ケーブル、減衰器及びテストレシー</u>

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」、「E (編集上のコメント)」又は「Q (質問)」の区分をご記入ください。

コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 : 採用、 : 修正等、× : 不採用)
						バの校正証明書結果に不確かさがついていることが必要である。

注：コメント区分には、必ず「G(全般に関するコメント)」、「T(技術的コメント)」、「E(編集上のコメント)」又は「Q(質問)」の区分をご記入ください。